

日本語海外研究者招聘事業 成果報告書

I. 研究概要

氏名	ヴォロビヨワ ガリーナ Vorobeva Galina
所属	キルギス民族大学 The Kyrgyz National University
招聘回（招聘期間）	第6回「日本語海外研究者招聘事業」 2011年10月1日～2012年9月30日
招聘研究テーマ	漢字字体の階層性構造の分析とそれにもとづく『千話一話漢字物語』漢字教材作成 Analysis of kanji hierarchical structures and its using for development of textbook “1001 kanji stories”
研究目的	1.漢字の線型構造分解より適切に漢字の成り立ちを表す階層構造分解による字体の分析を行う。 2.1006字の学習漢字の階層構造のデータベースを作成する。 3.それをもとに『千話一話漢字物語』漢字教材を作成する。
研究概要：	<p>キルギス共和国の日本語学習者にとっては会話、文法、聴解と比べたら漢字学習は難しい。漢字教材としてほとんど日本で作成された教材が使用されていて、日本語教師は漢字の指導法に関する知識が浅い。非漢字系の日本語学習者、そのうちキルギスの学習者に相応しい漢字教材作成を目指し、2005年と2006年に518字の漢字を含めた連想記憶法に基づく初級の漢字教材『漢字物語Ⅰ、Ⅱ』を執筆した。その教科書は現在キルギス、ロシア、ウクライナ、ウズベキスタン、カザフスタン、タジキスタン、日本などで使用されている。</p> <p>また第2回博報日本語海外研究者招聘プログラムに参加させていただき、非漢字系日本語学習者を対象とした漢字指導法の改善を目指し、国立国語研究所の横山詔一教授の指導のもと、計量言語学的なアプローチを用いて漢字の書記素と構成要素を分析した。</p> <p>本研究の目的は、上記の研究を引き続き、漢字の線型構造分解より適切に漢字の成り立ちを表す階層構造分解による字体の分析を行い、1006字の学習漢字の階層構造のデータベース作成し、それをもとに『千話一話漢字物語』漢字教材作成をすることである。</p> <p>実際に日本滞在中1006字の学習漢字だけでなく、2136新常用漢字の構造分解を行い、各々の漢字の階層構造の公式を作成し、データベースを構築した。その際に先行研究に基づき部首とともに新常用漢字をカバーする部首以外の構成要素（最小意味単位）を抽出するための規則を確定した。その故に構成要素を新しく抽出する必要となり、数も161個から220個に増加した。</p> <p>さらに国立国語研究所で珍しい書物を教えていただき、ロシア人研究者は19世紀から非漢字系の人に相応しい漢字検索法を開発したことが分かった。その検索法をはじめ、様々な検索法の効率性を比較し、作成されている漢字教材に使用しそうな検索方法を検</p>

討した。

先行研究で漢字の複雑さの定義をし、複雑さによって新常用漢字を分類した。本研究では学習漢字の意味的グループを作った。連想記憶法を効率的に用いるために、各々の漢字のグループとともにそのグループの漢字に入っている構成要素を教えることにした。各漢字に関する必要な情報とページのデザインを解決した。

階層的なアプローチに基づき、書記素、片仮名と漢字の新たな指導法を開発した。その指導法を教科書の構成を決める際に土台にした：片仮名の書記素 → 片仮名 → 漢字が含める残りの書記素 → 漢字の単体文字、ならびに漢字ではない構成要素 → 漢字の合体文字 → 漢字の熟語

日本滞在中執筆した研究論文

1. Воробьева Г. Н. (2012) Проблемы понимания и запоминания японских иероглифов и использование компьютерных технологий для их решения // Вестник КНУ им. Ж.Баласагына. «Современный университет: стратегии развития в меняющемся мире» – Бишкек: КНУ, стр. 438-442.
Vorobeva G.N. (2012) The problem of understanding and memorizing Japanese characters and the use of computer technologies for their solution // Bulletin Kyrgyz National University named after Zh. Balasagyn. "Modern University: Development strategies in a changing world", Bishkek: KNU, p. 438-442.
2. ヴォロビヨフ・ヴィクトル& ヴォロビヨワ・ガリーナ (2012) 「漢字字体情報処理システムの開発と応用」第5回「日本語教育とコンピュータ」国際会議 The Fifth International Conference On Computer Assisted Systems For Teaching & Learning Japanese (Castel/J)
http://2012castelj.kshinagawa.com/proceedings/Koutou/21/21_2_1_Galina.pdf
3. ヴォロビヨワ・ガリーナ (2012) 「既存の漢字索引の効率性の分析およびコード化にもとづいた索引の開発」第5回「日本語教育とコンピュータ」国際会議 (Castel/J) 企画パネル (3) 「漢字とICTの活用」プログラム pp.22-23
http://2012castelj.kshinagawa.com/proceedings/KikakuPanl_etc/KikakuPanel3e/KikakuPanel3_Galina.pdf
4. Vorobeva Galina (出版中) 「効率的な漢字学習の支援を目指した漢字の分析」『JSL 漢字学習研究会誌』第5号 JSL 漢字学習研究会
5. Galina N. Vorobeva, Victor M. Vorobev (発行中) 「既存の漢字索引の効率性の分析およびコード化にもとづいた索引の開発」OPEN JOURNAL SYSTEMS: Acta Linguistica Asiatica 特集号「L2 日本語の辞書」リュブリャーナ大学文学部アジア・アフリカ研究学科日本研究講座 リュブリャーナ大学出版局
<http://revije.ff.uni-lj.si/ala>
6. 博士論文「効率的な漢字学習の支援を目指した計量言語学的研究」予備審査用の原稿を完成させて、提出した。

日本滞在中した研究発表

1. ヴォロビヨワ・ガリーナ「効率的な漢字学習の支援を目指した漢字の分析」日本語教育学会テーマ研究会 JSL 漢字学習研究会 2012 年 2 月 25 日
2. ヴォロビヨワ・ガリーナ「効率的な漢字学習の支援を目指した漢字の分析」国立国語研究所第 69 回 NINJAL（国語研）サロン 2012 年 4 月 10 日
3. ヴォロビヨワ・ガリーナ「効率的な漢字学習の支援を目指した漢字の分析」筑波大学 加納千恵子教授のゼミ 2012 年 5 月 28 日
4. ガリーナ・ヴォロビヨワ&ヴィクトル・ヴォロビヨフ「複雑さを考慮した漢字分類を応用した漢字指導法」 2012 年日本語教育国際研究大会名古屋大学 2012 年 8 月 19 日
5. 横山詔一,ガリーナ・ヴォロビヨワ&ヴィクトル・ヴォロビヨフ「形と意味の連想記憶を利用した初級漢字教授法」2012 年日本語教育国際研究大会 名古屋大学 2012 年 8 月 19 日
6. ヴォロビヨフ・ヴィクトル&ヴォロビヨワ・ガリーナ「漢字字体情報処理システムの開発と応用」第 5 回「日本語教育とコンピュータ」国際会議（Castel/J）名古屋外国語大学 2012 年 8 月 21 日
7. ヴォロビヨワ・ガリーナ「既存の漢字索引の効率性の分析およびコード化にもとづいた索引の開発」 第 5 回「日本語教育とコンピュータ」国際会議（Castel/J）企画パネル（3）「漢字と ICT の活用」名古屋外国語大学 2012 年 8 月 22 日
8. ヴォロビヨワ・ガリーナ「複雑さによる漢字の分類と階層構造分解にもとづく漢字の指導法」日本語学習辞書科研第 1 回全体研究集会，筑波大学 2012 年 9 月 2 日
9. ヴォロビヨワ・ガリーナ「漢字検索法の効率性の分析ーロシアのグラフィックシステムなどー」日本語教育学会テーマ研究会 JSL 漢字学習研究会 2012 年 9 月 22 日

展望：・教科書をまとめ、ロシア語訳、出版の準備、出版をする

- ・研究の成果をデータベースの形でインターネットを通して広報する
- ・博士論文を完成する
- ・計量的なアプローチと文化的なアプローチを合わせて漢字字体の分析に基づく漢字指導法を検討し，実践授業で使用する